

この冷凍機は On-OFF スイッチが On の時には自動的にスタートします、**ベルト点検時には必ずスイッチを OFF にして行って下さい。**

## 1. ユニット外観検査

ユニット外観の傷やダメージが無い、運転中に異音等ないか検査します。

**コンデンサーコイルに異物がないか、点検し、外側の冷媒配管等に傷やオイル洩れが無いかに注意します。**



## 2. エバポレータの点検

エバポレータコイルにビニールやゴミが付着していないか、霜・氷が付いていないか点検します。

霜が付いていたら手動霜取りを行います。運転後**ファンモーター（3ヶ）**が全て作動しているか確認します。

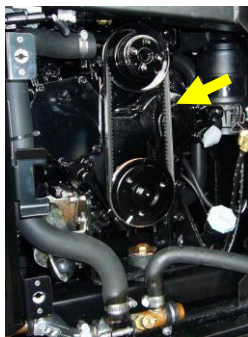
## 6. 冷媒の点検

冷凍機を高速冷却運転にて 10 分以上運転し、**サイトグラス内のフロートが少し浮く程度で十分です。**



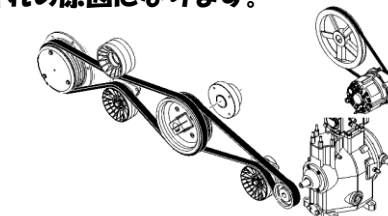
レシーバタンク  
サイトグラス

ウォーター  
ポンプベルト



## 5. ベルトの点検

**ウォーターポンプベルトに割れ目や傷が無いかに点検します。**ベルトが緩むとベルト鳴きやベルト外れの原因になります。



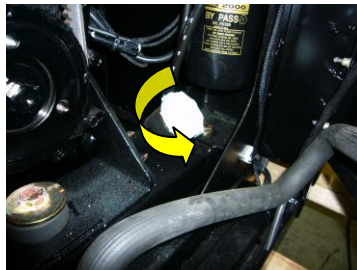
メイン S/W

長期間ご使用にならない場合**メイン S/W を OFF**にするとバッテリー上がり防止になります。

ラジエター  
キャップ



エンジンオイル  
キャップスティック



## 3. エンジン冷却水の点検

ラジエター・ラジエターキャップに異状はないか、点検します。**クーラントが不足するとアラーム #37 (冷却水レベル点検)**が点灯します。熱い時は開けないで下さい。

## 4. エンジンオイル量の点検

エンジンオイル量はキャップスティックに取り付けられた**ケージの ××印内**にて使用します。エンジンオイル量が減ると**アラーム #66 (オイルレベル低下)** **#19 (エンジン油圧低下)** が点灯します。

## 7. 燃料の点検

運行中燃料切れのない様運行前に点検します。